

# オガサワラカワラヒワ 生息域外保全の実施状況 (春繁殖期以降の取組み)

- 足環に関する不調個体の発生  
(#7 ♀、#11 ♂、#12 ♂、#14 ♂、#16 ♀)
- 落鳥の発生(#1 ♀、#16 ♀)
- 個体の移送(#7 ♀、#23 ♂)
- 新規ファウンダー捕獲(#27 ♀、#28 ♂、#29 ♂)
- 次回の春繁殖に向けた取組み

# 2025年 脚の異常(父島施設3個体、上野動物園2個体)

#16 ♀ (2023年10月7日 平島にて若鳥で捕獲)

## 皮膚の変色、右脚の組織壊死

- ・足環装着状況(装着期間:約1年11か月)  
→左脚プラスチック製標識足環2つ 右脚 // 1つ、アルミニウム製標識足環1つ
- ・6月12日、足環による脚の絞扼、腫脹を認めるも、繁殖活動中のため経過観察
- ・9月15日、足環の取り外しを実施

## 手術結果(上野動物園)

- ・皮膚の色は紫色に変色、多量の落屑を確認
- ・10月6日、跛行が見られたため視診を実施。その結果、右脚フシヨ一部に組織壊死を確認  
→飲み薬、塗り薬により、血流改善の対応を実施
- ・11月7日、右脚患部の黒色変色を確認。腱の一部を残し、脱落したためハサミで除去
- ・11月20日、左脚の後趾に異常が見られたため、テーピングによる治療を開始  
→その後、徐々に改善し、止まり木に止まる様子を確認



手術後の左脚の様子



手術時の右脚の様子



組織壊死した右脚の様子

# 2025年 脚の異常を受けて

## 今後の対応

- ・足環の装着期間に関わらず、2025年に、飼育足環個体8羽中6羽で発生  
→ #13♂(小笠原自然文化研究所で飼育、装着期間:約1年7か月)でも  
同事例を確認  
※域内でも足環装着による不具合の報告あり
- ・足環を装着している他個体についても、予防的な観点により、取り外しを実施  
→現在、すべての飼育個体の足環を除去済
- ・飼育個体の管理に使用する足環の仕様(材質、規格等)、装着の数・時期等に関して試行中  
→内径2.8mm以上のプラスチック製カラーリング及びアルミ製リングを試験装着し、1年間の経過観察を行う。各種リングは片脚に1つとし、複数は装着しない
- ・麻酔下での処置が問題ないことが確認されたため、足環除去作業時等の麻酔下において、今後の各種検査や知見収集のためのサンプリングについて検討中

# 2025年 落鳥(父島施設1個体、上野動物園1個体)

#16 ♀ (2023年10月7日 平島にて若鳥で捕獲) 落鳥確認日:2025年12月15日  
頭部挫傷

- ・12月14日、著変なし
- ・12月15日朝、膨羽、閉眼を確認。前日夕方から朝にかけて採食量減少  
園内、動物病院輸送中に死亡を確認
- ・死亡時までの体重:18.5~19.0gを推移(安定していたことを確認)

## 剖検結果

- ・竹かごの天井はウレタンマットを設置済のため、天井に打撲した可能性は低い
- ・低い位置に設置した止まり木と床の間に頭部を挟み、左頭部を打撲した可能性
- ※本個体は右脚が欠損していたため、行動が不自由であった

## 病理結果

- ・全身性うっ血、腺胃粘膜線虫寄生(偶発所見。寄生に伴う顕著な病変は確認なし)



落鳥時の様子



落鳥時のフシヨの状態



確認された頭部挫傷

# 2025年 個体の移送(♂1個体、♀1個体)

## 飼育個体の追加移送(2025年10月14日~15日父島→上野動物園)

- ・移送個体 #7♀(2022年9月8日向島にて若鳥で捕獲)  
#23♂(2025年6月13~15日に父島で孵化したF1個体)
- ・搬入方法 父島→竹芝棧橋:おがさわら丸 竹芝棧橋→上野動物園:公用車
- ・輸送中 2個体とも採食を確認(1時間おき)、落ち着いた状態で移送を完了
- ・移送後 移送直後は移送による体重の減少は認められたものの、徐々に体重は増加し、健康状態に問題なし



飼育個体移送時(父島→竹芝棧橋)の様子

# 2025年 新規ファウンダー捕獲(♂1個体、♀2個体)

## 2025年10月15日平島にて若鳥で捕獲

- ・一時飼養 10月15日～21日まで母島一時飼養施設にて餌付け状況を確認  
→麻の実(初期)から徐々に配合を変え、総合栄養ペレットの割合増加
- ・移送 10月21日に母島から父島検疫施設(都立大学研究施設)に移送
- ・検疫 検査材料:糞便DNA/RNA 結果:Q熱など6病原体/疾患名で陰性  
→11月16日に屋内施設に移送し、検疫期間が終了

※捕獲当初1♂2♀と同定。その後#28は羽色(下尾筒の黄色)から♀→♂に修正



#28♂捕獲時の様子



移送(母島→父島)の様子



搬入(検疫施設)の様子

# 次回の春繁殖に向けて

## 父島島内、上野動物園内で実施予定

### 父島(屋内施設、屋外施設)

- ・全8個体(♂5、♀3)から相性の良いペアを組み合わせて繁殖成功を目指す
- ・屋外施設は1基改修後、ネズミのモニタリングを実施中  
→1月22日設置以降、ケージ内にネズミ侵入の確認なし

### 上野動物園(屋内施設、屋外施設)

- ・全5個体(♂3、♀2)から相性の良いペアを組み合わせて繁殖成功を目指す
- ・屋外施設の改修が終了し、使用予定

**屋内施設:繁殖事例を増やし、繁殖技術の確立を目指す**  
**屋外施設:繁殖の成功を目指す**